

ヒガシホールディングス
IT企画開発部 部次長
高田 雄一郎氏
INTERVIEW


ヒガシホールディングスが NETGEAR製品を導入した理由とは？ 拡大する事業に対応するネットワークインフラの最適化

取材・文：ネットギアジャパン

事業領域を広げる「総合物流企業」

～ヒガシホールディングスが求めた IT インフラの安定性～

ヒガシホールディングス株式会社は、創業80年以上の歴史を持つ総合物流企業です。「運ぶ・預かる」だけではなく、物流を起点に「ビジネス」を支える多彩なサービスを展開しているのが大きな特徴です。

運送・倉庫事業を基盤にしながら、オフィス移転、ビル内デリバリー、3PL（サードパーティ・ロジスティクス）事業、さらには介護サービス事業まで幅広い領域に事業を拡大。昨今では「総合物流企業」として、BtoBを中心にサービスを提供しています。

拠点数・事業領域の拡大とともに、ITインフラの重要性はますます高まっています。現場を止めない、迅速な対応が求められる物流業界において、ネットワークの安定稼働は最重要課題です。

今回は、ヒガシホールディングス IT企画開発部 部次長の高田雄一郎氏に、NETGEAR製品導入の背景や効果についてお話を伺いました。

物流だけじゃない、幅広い事業を展開する

ヒガシホールディングス

— まずは、御社の事業について教えてくださいませんか？

高田氏：当社グループは、元々は運送事業や倉庫事業からスタートした会社です。現在では、物流関連にとどまらず、オフィス移転事業やビル内デリバリー、3PL（サードパーティ・ロジスティクス）事業、さらには介護サービス事業なども展開しています。

いわゆる「総合物流企業」として、多岐にわたるサービスを提供しているのが特徴です。

半導体不足で生まれたネットワーク機器の課題

— 今回、ネットワーク機器の導入についてお話を伺いますが、導入前はどのような課題があったのでしょうか？

高田氏：以前は他社製品を使っていたのですが、世界的な半導体不足の影響を大きく受けました。納期が「半年待ち」という状況になってしまい、業務に支障が出かねない状況でした。さらに価格面でも高止まりしていたため、代替製品の選定が急務でした。

「安定供給できる製品を、コスト面でも最適に導入したい」というのが、当時の大きな課題でしたね。



製品選定のポイントは 「性能」「クラウド管理」「保守体制」

—— 代替製品を選ぶ際、どのような観点で比較検討されたのでしょうか？

高田氏：まずは性能面で、従来使っていた製品と遜色がないことが前提でした。その上で、クラウドによる一元管理ができること、価格面での優位性、そして保守体制の整備、こういった点を重点的に比較しました。

NETGEARさんの製品はそのすべてをクリアしていましたので、導入を決めました。



Insight クラウド管理対応 (WAX610)

「社内標準」の見直しからスタートした導入プロセス

—— 導入はどのように進めたのでしょうか？

高田氏：当社には既に決まっていた「社内標準」がありましたので、いきなり全社展開するのではなく、まずは本社ビルでのテスト導入から始めました。実際に使ってみると、性能面・管理面ともに全く問題なし。それを確認した上で、小規模な倉庫から順番に徐々に展開範囲を広げていきました。最終的には、2022年に新たに建設した大規模倉庫にも導入し、ネットワークインフラを整備しました。

倉庫・オフィスを支えるネットワークとして活躍



—— 現在、NETGEAR製品はどのような場所で利用されていますか？

高田氏：主に倉庫やオフィスで使っています。

倉庫では、パソコンだけでなく、ハンディターミナルと連携してのネットワーク通信も多いですから、安定稼働は非常に重要です。

オフィスでも同様に、PC環境のネットワークインフラを支える役割を担っています。

クラウド管理で管理工数を削減。 「トラブルがない」という安心感



マルチギガ対応スマートスイッチ (MS510TXUP)

—— 実際に導入してみて、どのような効果がありましたか？

高田氏：特段大きな問題もなく、スムーズに稼働しています。

効果という点では、クラウドでの管理ができるようになったことで、IT部門の管理工数が大きく減りました。現場からの声も、特に何も出ていませんが、それは「大きなトラブルがない証拠」だと捉えています。

ネットワークは「業務を支えるインフラ」ですから、問題なく動いていることが何よりです。

今後は、より簡単な統合管理に期待

—— 今後、ネットワークインフラについて期待することがあれば教えてください。

高田氏：当社グループは、今後もさらなる事業拡大を予定しています。

拠点も増えていきますので、ネットワーク管理の負荷は今後さらに増えるでしょう。理想を言えば、メーカーを超えて統合管理できるようになるのがベストですが、まずはNETGEARさんから、そういった対応製品をさらに増やしていただけると助かります。

私たちIT部門としても、運用負荷がどんどん軽減されることを期待しています。

まとめ

ヒガシホールディングス様は、物流を中心としながらも多岐にわたる事業を展開し、さらなる拡大を見据えています。

その基盤を支えるネットワークインフラとして、NETGEAR製品は「安定稼働」と「クラウド管理による負荷軽減」という効果を発揮しています。

ネットワークが「止まらないこと」こそ、最大の価値。

今回の導入事例は、その重要性を改めて実感させてくれるものでした。

製品

Insight クラウド管理対応
WAX610



マルチギガ対応スマートスイッチ
MS510TXUP

